

(コミックイラスト科)

科目区分	授業科目	授業時間数	うち実務教員による授業	授業時間数	うちシラバス添付	授業時間数	備考
講義	特別講義・ホームルーム	240					
講義	編集実務論Ⅰ	60	○	60			
講義	編集実務論Ⅱ	60	○	60			
演習	クロッキーⅠ	120	○	120			
演習	クロッキーⅡ	120	○	120			
演習	構成	120					
実技	キャラクターデザインⅠ	120	○	120			
実技	キャラクターデザインⅡ	120	○	120			
実技	背景描写Ⅰ	120	○	120			
実技	背景描写Ⅱ	120	○	120			
実技	コミックイラスト	120	○	120			
実技	デジタルコミックイラストⅠ	240	○	240	★	240	
実技	デジタルコミックイラストⅡ	240	○	240			
演習	マンガテクニックⅠ	60	○	60			
演習	マンガテクニックⅡ	60	○	60			
演習	デジタル基礎Ⅰ	120	○	120			
演習	デジタル基礎Ⅱ	120	○	120			
演習	ポートフォリオ制作	60		60			
実技	コミックイラストゼミ	180	○	180			
総授業時数		2,400		2,040		240	
卒業に必要な授業時数		2,400					

2020

区分

必修

対象

I部CIL科1年

科目名	デジタルコミックイラスト I			
開講期	前後期	時間数	6H	
講師名	上嶋 俊平			
授業概要	<p>デジタルイラスト制作における基本の習得を目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリップスタジオの使い方 ・デジタルイラスト制作、制作における基礎知識 ・PCの基本的な取り扱いかた、基本動作、etc・・・ <p>イラスト制作の仕事について、実際の仕事の現場での流れと完成までを学ぶ。</p> <p>この授業は、実習・実技形式が基本となります。</p> <p>担当講師は、実務経験に基づいて授業を展開している。</p>			
授業計画	回数	主題・目的	概要	持参物
前期	1	基礎座学	PCやデジタルイラストの基礎授業	筆記用具
	2	クリップスタジオ基礎	クリップスタジオ基礎授業	PC ハードディスク
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
後期	1	課題1	テキストツールを用いたイラスト作成 ・文字とイラストのバランスなどの配置練習など	PC ハードディスク
	2			
	3			
	4			
	5	課題2	写真を用いた背景イラスト制作 ・写真トレースの基本から応用までの練習	
	6			
	7			
	8	進級作品	進級作品制作	
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15	予備日	作品制作、終わっていない課題などを行う予備日	
評価方法	授業態度、提出作品の仕上がり、出欠席、課題への取り組み姿勢（授業外での資料集めなど）に対し、総合評価により算出します。			
テキスト参考書	・創作活動応援サイト CLIP			

2020		区分	必修	対象	I部CIL科1年
科目名	クロッキー I				
開講期	前後期	時間数	3H		
講師名	いとう みちろう				
授業概要	<p>時間をかけて調子をつけていくデッサンと違い、短時間の描写で瞬間的にモノの形を捉え、表現する力を養います。より全体的な構造や動勢を捉えることを重視します。</p> <p>人体の全体或部分、動物や植物、日用品など、さまざまなモチーフを描くことによって、それぞれが自分なりの人物表現や造形(絵画、マンガ、イラスト等)表現を自在にできるようになることを目指します。</p> <p>また量をこなし、反復的に練習することによって特定のモチーフに対する苦手意識をなくしていくことも目的の一つです。</p> <p>※クロッキー帳1(8号もしくはB3、木炭紙サイズ)or クロッキー帳2(MもしくはLサイズ) 鉛筆、練ゴムは毎回使用。その他の持ち物については随時指定。 写真使用の回は資料の写真、画像を用意。</p>				
授業計画	回数	主題・目的	概要	持参物	
前期	1	クロッキー	授業内容の説明、人物クロッキー(立ちポーズ)	クロッキー帳F8号、鉛筆、パス等、練ゴム	
	2		立ちポーズ2 立ちポーズの特徴と性差の特徴		
	3		手		
	4		足		
	5		座りポーズ(椅子、あぐら、体育座りetc)		
	6		アクションポーズ(動きのあるポーズを短時間5分、3分で)		
	7		顔(さまざまな表情をさまざまなアングルで)	紙、クロッキー帳MもしくはLサイズ。	
	8		花を描く(写真使用) さまざまな形の花を描く	資料の写真	
	9		動物を描く(写真使用) 犬、猫など		
	10		動物を描く(写真使用) 鳥、魚など		
	11		日用品(スマホ、ペットボトル、帽子、腕時計、ペンケース等)		
	12		コスチューム1(スーツ、制服、浴衣など)	衣装	
	13		静物(楽器、やかん、チェーン、観葉植物、牛骨、石膏等)		
	14		モノと人の組み合わせ(楽器を弾く、ドアと人…等)		
	15		日常動作(スマホ、パソコン、飲む、食べる、読書) 講評・まとめ		
後期	1	クロッキー	二人ポーズ		
	2		筋肉、骨格、身体		
	3		暗室(部屋を暗くしライトを当てる。影を捉える練習。人物と石膏)	ペンライト	
	4		手2(何かを持っている、手を組む、握手等)		
	5		足2(さまざまな靴)		
	6		生き物(写真使用) 虫、カニ・エビ、タコ・イカ、貝、クラゲ		
	7		乗り物(写真使用) 車、自転車、バイク、飛行機、舟、ヘリコプター		
	8		建物(写真使用) 家、高層ビル、学校、マンション、城、等		
	9		年齢差・体形差の表現(写真使用) 幼児～高齢者、痩せ～太、		
	10		横になるポーズ 寝っ転がる、仰向け、うつ伏せ等		
	11		さまざまなコスチューム2 スーツ、制服、伝統衣装、コスプレ?	衣装	
	12		室内表現(一部写真使用) 教室、リビング、カフェ、コンビニ等		
	13		顔2(写真使用) さまざまな年齢、人種、民族等の顔		
	14		ポーズクロッキー 5分、3分、1分ポーズを大量に		
	15		40分人物画 講評・まとめの話		
評価方法	出席・課題、取り組み方で評価。課題については、より全体的に形・構図、動きが取れているかなどを見ます。ただし、あまり上手い下手や個々の完成度にこだわらず、のびのびと線を引くいろいろな描き方を試してください。				
テキスト					
参考書					

2020

区分

必修

対象

I部CIL科1年

科目名	構成			
開講期	前後期		時間数	3H
講師名	田原 健一			
授業概要	<p>イラスト制作に必要な構成力と色彩感覚を身につけることを目指します。 絵画全般に於いて重要な要素となる構図について平面構成を通じて考え方を身につけていきます。 また、色彩については教科書を読み進めながら知識や技術を習得し、実技課題を通じて感覚を養います。</p>			
授業計画	回数	主題・日付	概要	持参物
前期	1	オリエン	授業内容の説明。課題1 模写と描き書読み進め	●教科書/ カラーコーディネーター入門「色彩」 ※以後毎週持参 ●上記以外は事前連絡
	2	調色	課題1 模写を通じて絵の具でイメージどおりの色を作るトレーニング	
	3		課題1 調色チェック	
	4		課題2 寒暖対比の課題を通じてトーンの使い分けに触れる	
	5	寒暖対比	課題2 構成と配色の中間チェック	
	6		課題2 最終チェック	
	7		課題3 明度対比の課題を通じてコントラストについて理解する	
	8	明度対比	課題3 構成と配色の中間チェック	
	9		課題3 構成と配色の中間チェック	
	10		課題3 最終チェック	
	11	彩度対比	課題4 高彩度色と低彩度色の使い分けについて理解する	
	12		課題4 構成と配色の中間チェック	
	13		課題4 最終チェック	
	14		課題4 提出	
	15	前期のまとめ	総評、作品返却	
後期	1	色相の選択	課題5 色相の使い分けによるイメージ表現書読み進め	
	2		課題5 構成と配色の中間チェック	
	3		課題5 最終チェック	
	4	具象形態による構成	課題6 花、小物などをモチーフにして構成、配色を試みる	
	5		課題6 構成と配色の中間チェック	
	6		課題6 最終チェック	
	7	言葉のビジュアル化①	課題7 光、風、音などのイメージを形象化し、構成、配色を試みる	
	8		課題7 構成と配色の中間チェック	
	9		課題7 構成と配色の中間チェック	
	10		課題7 最終チェック	
	11	言葉のビジュアル化②	課題8 愛、飛翔、友情などのイメージを形象化し、構成、配色を試みる	
	12		課題8 構成と配色の中間チェック	
	13		課題8 最終チェック	
	14		課題8 提出	
	15	まとめ	総評、作品返却	
評価方法	出席及び課題によって評価します。			
テキスト 参考書	随時指定			